

<p>第10号</p> <p>平成21年8月</p>	<p>もう一つの道</p> <p>情報は、うのみにせず、注意深く 徐々に試してください。</p>	<p>山田整骨院 熊本市出水4 - 25 - 1 096 364 7611 http://yamadasu.com/ E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp</p>
----------------------------	---	--

第6回国際柔道学会シンポジウム 発表論文について

8月25日オランダ国ロッテルダム市で、世界柔道選手権の開催に合わせて、表記のシンポジウムが行われます。私、山田道夫は日本代表の一人として研究発表を行います。

演題：柔道等による骨折を早期治癒に 導く側副循環路活用治療

発表の目的

骨折受傷者は疼痛、機能障害、日常生活の不便、精神的苦悩、場合によっては深刻な後遺症に悩む。本発表の目的はそれらの苦痛、苦悩を短期間に解決する治療法を紹介し、受傷者に安心と希望を与えることである。

側副循環路とは何か。

通常血液は、動脈から毛細血管を通して細胞に栄養と酸素を与え、細胞から老廃物と二酸化炭素を受け取り、毛細血管を通過して静脈へ流れる。側副循環路とは血液が毛細血管を通らず、小動脈から直接小静脈に流れる血管のことである。動静脈吻合と称される。

動静脈吻合のメカニズム

恐ろしいことに会った時、顔は蒼白になる。又、皮膚を寒さにさらすと蒼白になる。これは動脈血が動静脈吻合を通ったことを示す。又、怒りの感情になったとき血圧が急激に上がり、多量の血液が流れて毛細血管は対応できない。その時動静脈吻合が開いて多量の血液が処理される。つまり動静脈吻合は自律神経的に働き、血液循環調節、体温調節、血圧調節を行う。

人工的に動静脈吻合を働かせる方法

1. 毛管運動

患部を心臓より上にあげて約2分間振る。脚の場合は背臥して、脚をあげて振る。そうすると、毛細血管は収縮して、血液は動静脈吻合の方へ流れる。

2. 温冷湿布

温めると血液は毛細血管に流れ、充血し、赤くなる。冷やすと動静脈吻合の方に流れて、蒼白になる。これを交互に行うことにより急速な血液循環を起す。

症 例

1. 左前腕骨骨折 65才女性

1日目 ア・七掛温冷交互湿布 温10分、冷7分、温7分、冷5分、温5分、冷3分
イ・無痛整復法 ウ・固定包帯

2日目～9日目 ア・七掛温冷湿布 イ・副木をして毛管運動

10日目～40日目 痛みが出ないので、副木をしないで毛管運動

40日目 治癒

2. 右第4趾骨骨折 69才女性

1日目 症例1と同じ治療

2日目 足枠をして毛管運動

27日目 治癒

動静脈吻合活用治療の効果

1. 血流が早いので腫脹が早く消失する。
2. 腫脹による発赤、熱感が少ない。
3. 腫脹による痛みが大幅に減少する。
4. 新陳代謝が旺盛で損傷組織の修復が早い。
5. 筋、靭帯が硬結せず、拘縮が生じない。(以上が発表の内容です。)

あ と が き

症例1の患者さんは、以前にも骨折を2度体験してました。当院の治療は今までと全然違ったそうで、動静脈吻合活用の効果がそのまま出て、キレイに治り、リハビリの必要もなく大変喜んでいました。動静脈吻合は1707年レアリ・レアリが発見し、その後多くの解剖学的発表がされていますが、機能的発表は西勝造先生が初めて行い、病気の治療と予防に用いました。此の度の発表のため、改めて動静脈吻合を勉強し直しましたが、その意味の重要さに慄然としました。動静脈吻合血管がまともに働けば、恐いものはありません。